

大阪市立大学都市研究プラザ

先端都市特別研究員（若手）募集要項（2020年10月採用分）

大阪市立大学都市研究プラザ（URP）では、グローバル COE 拠点としての活動実績を継承し、若手研究者の自発的かつ国際水準の研究活動を支援することを目的として、「先端都市特別研究員（若手）」を若干名、下記の要領にて募集します。

1. 研究活動

- 1) 先端都市特別研究員（若手）は、URP「先端的都市研究拠点」に所属する受入研究者が主宰する「受入研究プロジェクト」と密接に関連した独自研究プロジェクトを遂行します。別表「受入研究プロジェクト・研究者一覧」を参照のうえ申請書類を作成してください。
- 2) 研究期間は1年間（2020年10月1日から2021年9月30日まで）です。この期間中に遂行できる研究計画を作成してください。
- 3) 合評会（都市研究プラザ特別研究員研究発表会）が年2回開催されます。それらのいずれにおいても研究発表をしていただきます。また、拠点事業に関連した企画の実施運営にも参画していただきます。
- 4) 研究費は、研究計画に基づいて査定したうえで、会計年度ごとに支給します。2020年度（2020年10月1日から2021年3月31日まで）に支給される研究費は、最大で20万円です。2021年度（2021年4月1日から9月30日まで）に支給される研究費の額は、URPの2020年度の予算がほぼ確定する2020年度末に、改めて査定したうえで決定します。
- 5) 研究費は、大阪市立大学の経費支出基準に基づき執行されます。また、同種研究費の重複給付は行いませんので、例えば旅費の執行が認められない場合があります。
- 6) 研究活動結果報告書および決算報告書を、2021年3月末と9月末に提出していただきます。

2. 応募資格

- 1) 次の①～③のいずれかに該当する者。①後期博士課程（博士課程）に在籍中の者、②単位取得済みでありかつ博士論文を執筆中の者、③博士号取得済みの者。
- 2) 別表に示す「受入研究者候補」から「受入研究者」を1名選定し、事前に承諾を得てください。
- 3) 応募に際して、受入研究者となることが可能な研究者による承諾書に加えて、現在の指導教員による推薦状が必要となります。両者が同一の方でも構いません。
- 4) これまでに先端都市特別研究員（若手）として採用されたことがある方でも、博士号を取得済みであれば1回に限り再応募が可能です。

3. 応募手続

- 1) 出願書類（いずれも所定様式を用いること）
 - a. 申請書
 - b. 現在の指導教員による推薦書
 - c. 受入研究者による承諾書
- 2) 募集期間：7月27日（月）～8月19日（水）17:00必着（下記宛に郵送または持参のみ受付）

4. 選考方法

提出書類に基づいてURP特別研究員選考委員会が実施します。結果は2020年8月下旬に発送します。

5. 今後の募集予定

2021年4月採用分については、2021年1月に募集要項を公表する予定です。

【問い合わせ・出願書類送付先】

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学都市研究プラザ 先端的都市研究拠点事務局

TEL：06-6605-2071 FAX：06-6605-2069 E-mail：office@ur-plaza.osaka-cu.ac.jp

【別表】URP 先端都市特別研究員（若手）受入研究プロジェクト・受入研究者一覧

No.	プロジェクト	受入研究者
1	A new development in urban ecology: inclusion of biodiversity and cultural communication 生物多様性と文化コミュニケーションを組み込んだ都市生態学の展開	岡野浩
2	Transformation in the modern capitalism and cities 現代資本主義と都市の変容	立見淳哉
3	Urban policies, administration and finance in super-aging and depopulating societies 人口減少・超高齢社会における都市政策・都市行財政	阿部昌樹
4	Dialogue between East Asian cities toward recognition to cultural diversity and social inclusion 文化的多様性の承認と社会的包摂に向けた東アジア都市間対話	全泓奎 野村恭代
5	A holistic study on formulation of tolerant urbanism 包容力ある都市の構想に関する包括的研究	水内俊雄
6	A study on early-modern local social history: the City of Osaka and Izumi area 近世地域社会史の研究——都市大阪と和泉地域	塚田孝
7	Multi ethnic (cultural) symbiosis society and socially inclusive arts management 多民族（多文化）共生社会と社会包摂型アート&アーツマネジメント	中川眞
8	Clinical musicology research: building a place for dialogue in sound and words with people with and without learning difficulties 臨床音楽学研究：知的障害者を含む音と言葉による対話の場の構築	沼田里衣
9	Invention of a model of support to disabled people aiming at revitalization of multigenerational regional communities 多世代共生型地域再生のための障害者支援モデルの開発	内田敬
10	Revitalization of cities in a resilient way with the utilization of architectural stock: a study of row houses in Osaka and modern architecture 建築ストックの活用によるレジリエントな都市再生—大阪長屋と近代建築を対象に	嘉名光市 藤田忍
11	A study on the art of residence and community development addressing disasters and dysfunction in a resilient ways 災害や機能不全に対するレジリエントなコミュニティづくりや住まい方に関する研究	横山俊祐